平成 2 9 年度
社会福祉法人大田原市社会福祉協議会
事 業 報 告 書

目次

I	地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業.....	2
1	安心生活見守り事業.....	2
(1)	安心生活見守り事業.....	2
2	生活支援体制整備事業（ささえ愛おたわら助け合い事業）.....	1 1
3	地域福祉活動計画の推進.....	1 3
(1)	第二次地域福祉活動計画推進事業.....	1 3
(2)	地域座談会の開催.....	1 3
(3)	地域福祉に関するアンケートの実施.....	1 4
	第三次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に向けて、.....	1 4
4	小地域福祉活動.....	1 4
(1)	福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業.....	1 4
(2)	地区社会福祉協議会活動支援事業.....	1 5
(3)	友愛訪問活動への支援.....	1 7
5	ボランティア活動の推進.....	1 7
(1)	ボランティアセンター事業.....	1 7
(2)	災害にも強い地域づくり事業の推進.....	2 0
6	福祉教育（ふくし共育）推進事業.....	2 0
(1)	福祉教育（ふくし共育）推進事業.....	2 0
(2)	地域福祉啓発イベント開催事業.....	2 4
(3)	広報充実事業.....	2 5
(4)	社会福祉士養成課程実習生の受入れ.....	2 5
II	福祉サービスを利用しやすくするための支援事業.....	2 5
1	総合相談事業の実施.....	2 5
(1)	生活困窮者自立支援事業.....	2 5
(2)	心配ごと相談事業.....	2 6
(3)	福祉金庫貸付事業.....	2 7
(4)	生活福祉資金貸付事業.....	2 8
2	日常生活自立支援事業.....	2 8
(1)	日常生活自立支援事業（あすてらす）.....	2 8
III	在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～.....	2 9
1	介護保険サービス.....	2 9
(1)	訪問介護事業.....	2 9
(2)	受託訪問介護事業の推進.....	2 9
2	障害福祉サービス.....	2 9
(1)	障害福祉サービス事業.....	2 9
3	その他のサービス.....	3 0
(1)	日常生活用具貸与事業.....	3 0
(2)	リフト付き自動車貸出事業.....	3 0
(3)	福祉サービス適正化事業.....	3 0
(4)	大田原市介護支援ボランティアポイント制度.....	3 1
IV	法人の基盤強化事業.....	3 1
1	福祉のまちづくり市民参加運営事業.....	3 1
(1)	理事会・評議員会の開催.....	3 1
(2)	会員加入の推進.....	3 5
2	基金・寄付事業.....	3 5
(1)	善意銀行運営事業.....	3 5
(2)	地域福祉基金造成事業.....	3 6

(3) 赤い羽根共同募金事業.....	37
3 その他.....	39
(1) 大田原市福祉センター管理運営事業.....	39
□ その他の事項.....	39
1 表彰等受賞者氏名（敬称略）.....	39

平成29年度 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会 事業報告書

(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

平成29年度、大田原市社会福祉協議会は、下記の4つの事業に重点を置き、関係機関や団体と密接に連携・協働を図りながら、各種事業に取り組みました。

市から「生活困窮者自立支援事業」を受託し、法律や制度では解決が困難な問題を抱えた方の相談を受け、それぞれの相談者に見合った必要な支援を行っています。

安心生活見守り事業においては、誰もが元気でいきいきと住み慣れた地域で暮らせるように、地域ぐるみの見守り活動が展開されています。大田原市の見守り活動の取り組みは全国でも高く評価され、多くの団体が視察研修に訪れました。29年度も関係機関の協力をいただき、地域住民の皆様の参加により活動を進めました。

ふくし共育推進事業では児童・生徒が共に地域の福祉課題を考える「学校と地域がつながるふくし共育プログラム」に取り組みました。

災害にも強い地域づくり事業として、災害ボランティアセンター運営連絡会を開催し、災害時のボランティア活動が円滑にすすめられるように関係団体の連携を進めました。

このほかに高齢者や障害者、その家族など介護や生活支援を必要とする方へのサービスとして、介護保険による居宅介護支援事業・訪問介護事業、障害福祉サービス事業、日常生活自立支援事業（あすてらすおおたわら）などを実施しました。

＝平成29年度重点事業＝

- (1) 生活困窮者自立支援事業
- (2) 安心生活見守り事業
- (3) 福祉教育（ふくし共育）推進事業
- (4) 地域福祉活動計画の推進

□事業実施状況

I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業

1 安心生活見守り事業

(1) 安心生活見守り事業

少子高齢化社会の進展による人口の減少とともに、単身世帯の増加や近隣関係の希薄化など、社会から孤立する人が生じやすい環境となり、従来の見守りや制度からもれる人を社会から孤立させずに支援していく仕組みづくりを行う「安心生活見守り事業」を大田原市からその一部を受託しています。平成21年度から地区社会福祉協議会を実施エリアとして、自治会ごとの見守りや買い物支援などを基盤支援として、市、地域包括支援センター、警察や消防などの関係機関団体と連携し、事業を実施しています。

平成26年度に市内で全地区の12見守り隊が発足しました。

本年度は、見守りの必要な方の把握、地域ネットワークの形成、情報の共有を行い、市内全地区で事業を展開してきました。更に生活支援体制整備事業として、安心生活見守り事業の各地区担当主任が第2層協議体の生活支援コーディネーターとなって、全地区に第2層協議体(地域の様々な課題や解決策を話し合う場)を設置し、住民主体の地域福祉を推進し、地域の課題解決力を高めるための基盤づくりを行いました。

①各地区の状況

i) 黒羽見守り助け合い隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成22年3月16日
自治会数	13自治会
見守り利用者数	128人
隊員数	101人

・ 平成29年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月12日	買い物ツアー(ザ・ビッグエクストラ那須塩原店)	30人
4月22日	介護予防・生活支援体制整備事業説明会(北野上、南区)	13人
6月6日	隊長会議(活動報告、活動計画等)	15人
6月17日	茶話会(北滝、片田、亀久、矢倉地区)	36人
6月27日	推進会議	43人

10月 5日	隊長会議	16人
10月28日	茶わ会（堀之内、北区、南区東、南区西）	44人
11月10日	買物ツアー（ビバホーム・トライアル那須塩原店）	29人
2月19日	見守り助け合い隊と地区社協合同研修会	40人
.....	茶話会（田町・前田、八塩地区、）	30人
毎月	助け合い隊便りの発行配布	

ii) 佐久山おもいやり隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成23年2月8日
自治会数	17自治会
見守り利用者数	163人
隊員数	121人

・ 平成29年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月19日	推進会議（活動報告、活動計画）	77人
7月 3日	隊長会議（隊員研修、茶話会、会食会、助成金交付）	30人
7月16日	講演会（生活困窮者、認知症・精神疾患について）	39人
7月27日	隊員視察研修（福島県いわき市）	23人
8月 2日	茶話会（福原地区）	22人
8月21日	会食会	30人
10月20日	隊長会議（買い物ツアー、文化祭バザー）	31人
11月12日	佐久山産業文化祭参加（バザーほか）	—
2月27日	男の料理教室	12人
3月27日	新旧隊長会議	35人

iii) 紫塚地区見守り隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成23年7月24日
自治会数	7自治会
見守り利用者数	103人
隊員数	76人

・平成29年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月28日	新旧隊長会議（活動報告、活動計画）	23人
5月25日	推進会議（活動報告、活動計画、グループワーク）	39人
6月12日	隊長会議（会食会）	25人
7月28日	会食会	92人
9月16日	ふれあい紫広場展示	—
10月15日	西地区文化祭展示 （西地区あったか思いやりの会と合同）	—
10月18日	隊長会議（救急法講習会）	13人
12月13日	隊員研修会（救急法講習）	26人
2月14日	隊長会議（活動報告、活動計画）	16人

iv) ちかその思いやり隊

・隊の概要

発足式年月日	平成24年11月30日
自治会数	9自治会
見守り利用者数	156人
隊員数	131人

・平成29年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月 6日	推進会議（活動報告、活動計画）	99人
5月16日	隊長会議（会食会、認知症サポーター養成講座）	28人
6月14日	会食会	61人
7月 4日	民生委員との情報交換会	14人
8月 3日	認知症サポーター養成講座	62人
8月23日	認知症徘徊声掛け訓練	58人
9月 6日	隊長会議（買い物ツアー、文化祭バザー）	24人
10月29日	親園地区文化祭（バザー、福祉相談）	—
11月 9日	買い物ツアー	35人
12月 1日	民生委員との情報交換会	15人
2月21日	隊長会議	17人
3月29日	新旧隊長会議	29人

v) 西部地区あったか思いやりの会

・会の概要

発足式年月日	平成25年2月4日
自治会数	9自治会
見守り利用者数	252人
会員数	124人

・平成29年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月10日	地区会長会議（活動計画）	16人
5月10日	推進会議	91人
8月24日	茶話会（浅野地区）	30人
8月31日	茶話会（加治屋地区）	39人
10月15日	西地区文化祭展示（紫塚地区見守り隊と合同）	—
10月29日	あったか広場出展	—
11月 6日	茶話会（赤堀東地区）	18人
11月29日	茶話会（赤堀西地区）	46人
11月29日	茶話会（西原地区）	22人
12月17日	茶話会（原町地区）	29人
2月21日	地区会長会議	13人

vi) 須賀川地区見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成25年10月29日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	139人
隊員数	111人

・平成29年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月24日	隊長会議、推進会議（活動報告、活動計画）	49人
6月	隊員による利用者への安否確認、パンの缶詰配布（全利用者対象）	—
7月15日	セブンイレブンお試し移動販売（須佐木高齢者ほほえみセンター）	40人

7月22日	セブンイレブンお試し移動販売（川上地域高齢者ほほえみセンター）	20人
7月29日	セブンイレブンお試し移動販売（須賀川高齢者ほほえみセンター）	20人
10月18日	隊長会議	21人
11月8日	認知症サポーター養成講座	60人
11月18日	やみぞあづまっぺ秋の収穫祭り（募金活動）	—
12月10日	須賀川新そば祭り（募金活動）	—

vii) ゆづかみ見守り隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成25年11月8日
自治会数	13自治会（地区隊数:11）
見守り利用者数	110人
隊員数	250人

・ 平成29年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月30日	地区説明会（湯津上「下」）	25人
5月22日	第1回隊長会議（会員証、委嘱状交付）	26人
5月28日	地区説明会（二輪地区）	14人
6月22日	ふれあいお楽しみ会（地区社協と共催）	72人
6月24日	茶話会（狭原・小船渡地区合同）	30人
7月13日	第2回隊長会議	20人
9月15日	中学生高齢者訪問活動支援	25人
10月28日	茶話会（狭原・小船渡地区合同）	26人
11月26日	ゆうあい広場（啓発活動）	89人
2月18日	茶話会（蛭畑地区）	24人
3月13日	第3回隊長会議	24人

viii) 東部地区見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成25年11月19日
自治会数	26自治会
見守り利用者数	142人
隊員数	519人

・平成29年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月23日	地区説明会（富士見ハイツ地区）	28人
5月25日	隊長会議（活動報告、活動計画、生活支援体制整備事業等）	38人
6月22日	推進会議（活動報告、活動計画、委嘱状の交付等） 隊員研修会（特殊詐欺被害防止）	84人
8月25日	認知症サポーター養成講座	61人
9月28日	隊長会議（活動報告、総合事業の概要説明等）	42人
10月 9日	ふれあい広場（啓発活動、握力測定）	—
10月30日	東部地区地域ケア会議	31人
2月22日	隊長会議（活動報告、活動計画等）	35人

ix) 両郷地区見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成26年6月25日
自治会数	12自治会（9地区隊）
見守り利用者数	138人
隊員数	174人

・平成29年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月30日	隊長会議（事業報告、事業計画等）	23人
8月29日	隊員研修（認知症サポーター養成講座）	32人
11月21日	隊員研修（救命講座）	26人
3月20日	隊長会議	21人

Ⅹ) 川西地区見守り隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成26年11月19日
自治会数	15自治会
見守り利用者数	89人
隊員数	309人

・ 平成29年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月 2日	地区説明会（上町地区）	15人
4月 8日	地区説明会（桜木沢地区）	17人
4月12日～ 2月14日	地区別カフェ（大豆田地区） 6回	90人
4月15日	地区説明会（余瀬地区）	13人
4月17日	地区説明会（下町1地区）	12人
4月23日	いちようカフェ（旧寒井小学校体育館）	40人
4月23日	地区説明会（下町2地区）	38人
4月25日 ～2月27日	地区別カフェ・会食会（下町2地区） 9回	162人
6月17日	推進会議（研修会）	192人
7月10日	隊長会議	28人
8月31日	先進地視察研修（群馬県）	22人
10月 9日	エルム福祉会感謝祭（PR活動）	—
10月28日	地区別カフェ （上町地区認知症サポーター養成講座）	28人
11月 7日	寒井地区カフェ	5人
11月23日	黒羽矯正展（バザー、PR活動）	—
11月29日	隊員研修会（在宅医療啓発事業）	22人
12月 5日	移動カフェ（上町地区たんぽぽ会）	32人
12月 8日	地区別カフェ （寒井地区認知症サポーター養成講座）	20人
12月10日	地区別カフェ（桜木沢サイプレス）	14人
12月23日	桜木沢地区ふれあい祭り（募金活動）	—
1月28日	黒羽大花市（募金、PR活動）	—

2月12日	地区別カフェ(余瀬地区)	19人
2月18日	地区別カフェ(蜂巢地区)	16人
3月8日	隊長会議	30人
3月11日	桧木沢サイプレスカフェ (認知症サポーター養成講座)	13人
3月17日	いちようカフェ(寒井地区)	24人
不定期	見守り隊便り	-

xi) 金田地区おもいやり隊

・隊の概要

発足式年月日	平成26年11月28日
自治会数	26自治会(32地区隊)
見守り利用者数	240人
隊員数	376人

・平成29年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月20日	新旧隊長会議	59人
5月12日	推進会議	53人
6月13日	隊長会議	48人
7月25日	認知症サポーター養成講座(金田北地区)	59人
10月24日	認知症サポーター養成講座(金田南地区)	29人
11月12日	金田地区文化祭(募金、PR活動)	—
2月28日	先進地視察研修(日光市)	21人
3月8日	隊長会議	40人

xii) 野崎地区見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成27年2月19日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	123人
隊員数	259人

・平成29年度事業経過

月 日	事 業 内 容	参加人数
4月27日	新旧隊長会議	20人
5月17日	推進会議	96人
6月29日	チーム隊長会議	19人
7月19日	認知症サポーター養成講座	46人
7月26日	認知症サポーター養成講座	35人
10月29日	野崎文化祭（PR活動）	—
11月29日	チーム・隊長会議（事業報告等）	22人
1月25日	チーム・隊長会議（事業報告等）	18人
3月 4日	地区説明会（野崎ニュータウン）	15人
3月22日	チーム、隊長会議（新年度活動計画案等）	15人
3月25日	地区説明会（中薄葉、平沢）	25人
3月27日	地区説明会（薄葉団地）	13人

② 安心生活見守り事業関連の視察受け入れ一覧

月日	依頼者	参加人数	内容
10月17日	群馬県みどり市	40人	住民による見守り活動と小地域ネットワークについて
11月 8日	二本松地区社会福祉協議会	20人	安心生活見守り事業について
11月14日	茨城町社会福祉協議会	18人	住民による見守り活動と小地域福祉活動について
1月24日	小山市絹地区社会福祉協議会	15人	地区社協の取り組みと見守り活動について
2月14日	足利市相生地区社会福祉協議会	35人	安心生活見守り事業について
合 計		128人	5回

③ 安心生活見守り事業 会議等

月 日	内 容	会 場
2月 5日	安心生活見守り事業推進会議	大田原西地区公民館

○救急医療情報キットの普及支援

大田原市が平成24年10月から配布している「救急医療情報キット」に関し、市社協では、各地区の民生委員や見守り隊員（会員）と協力して、見守り利用者に対し救急医療情報キットの説明、申請代行、配布を行いました。

平成29年度配布本数 182本（本所のみ）本所累計 1,313本

2 生活支援体制整備事業（ささえ愛おおたわら助け合い事業）

市からの受託事業である「ささえ愛おおたわら助け合い事業（生活支援体制整備事業）」は、安心生活見守り事業の地区担当主任が生活支援コーディネーターとして委嘱されました。

また、12地区に第2層協議体を設置し、話し合いを行っています。

○各地区の状況

①東部地区協議体

月 日	内 容	参加人数
4月27日	協議体会議（第1回）	12人
9月 8日	協議体会議（第2回）	15人
12月12日	協議体会議（第3回）	18人
3月20日	協議体会議（第4回）	21人

②西部地区協議体

月 日	内 容	参加人数
11月 8日	協議体会議（第1回）	14人
3月 1日	協議体会議（第2回）	13人

③紫塚地区協議体

月 日	内 容	参加人数
8月28日	協議体会議（第1回）	12人
12月 8日	協議体会議（第2回）	15人
3月23日	協議体会議（第3回）	19人

④金田地区協議体

月 日	内 容	参加人数
10月31日	協議体会議（第1回）	22人
11月13日	協議体会議（第2回）	27人

⑤親園地区協議体

月 日	内 容	参加人数
2月 7日	協議体会議（第1回）	23人

⑥野崎地区協議体

月 日	内 容	参加人数
1 1月 29日	協議体会議 (第1回)	22人
1月 27日	協議体会議 (第2回)	18人

⑦佐久山地区協議体

月 日	内 容	参加人数
6月 22日	協議体会議 (第2回)	25人
1 2月 20日	協議体会議 (第3回)	23人
3月 22日	協議体会議 (第4回)	18人

⑧湯津上地区協議体

月 日	内 容	参加人数
9月 22日	協議体会議 (第1回)	13人
1 0月 30日	協議体会議 (第2回)	12人
1月 11日	協議体会議 (第3回)	12人
3月 20日	協議体会議 (第4回)	11人

⑨黒羽地区協議体

月 日	内 容	参加人数
1 0月 5日	協議体会議 (第1回)	8人
1 0月 30日	協議体勉強会	15人

⑩川西地区協議体

月 日	内 容	参加人数
5月 12日	協議体会議 (第1回)	9人
9月 8日	協議体会議 (第2回)	12人
2月 1日	協議体会議 (第3回)	15人
3月 29日	協議体会議 (第4回)	12人

⑪両郷地区協議体

月 日	内 容	参加人数
9月 26日	協議体発起人会議	5人
1 2月 19日	協議体発起人会議	5人
2月 28日	協議体会議 (第1回)	7人

⑫須賀川地区協議体

月 日	内 容	参加人数
1 1 月 2 8 日	協議体会議（第 1 回）	1 3 人
2 月 7 日	協議体会議（第 2 回）	1 1 人

3 地域福祉活動計画の推進

(1) 第二次地域福祉活動計画推進事業

基本理念を『おたがいを おもいやり たのしく わらってくださるまち 大田原』とした、第二次地域福祉計画・地域福祉活動計画（平成 26 年度から 30 年度）を、平成 25 年度に市や地域住民とともに策定し、平成 26 年～29 年度は、計画の進捗状況を把握するため、市民、施設・団体、市、社会福祉協議会ごとに取り組み状況の調査を行いました。

平成 29 年度は、進捗状況の把握、活動計画の評価及び見直しを行うため、第 2 回地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催した。

- ・日 時 平成 29 年 7 月 11 日（火）午前 10 時～12 時
- ・場 所 大田原西地区公民館
- ・参加者 大田原市地域福祉活動計画推進委員会委員 30 名
- ・内 容 第二次地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況と評価
グループワーク
- ・アドバイザー 国際医療福祉大学医療福祉マネジメント学科
准教授 林 和美 氏

(2) 地域座談会の開催

第 3 次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定のための地域座談会を市内 12 地区で開催し、地域住民から日頃感じている地域の課題を出していただいた。

地域座談会開催日及び参加人数

番号	社協名	日 時	場 所	地域	関係職員	参加人数
1	紫塚地区	8 月 22 日（火）10 時～12 時	大田原西地区公民館	22	9	31
2	湯津上地区	8 月 28 日（月）13 時 30 分～ 15 時 30 分	湯津上庁舎	26	8	34
3	金田地区	8 月 30 日（水）13 時 30 分～ 15 時 30 分	金田北地区公民館	16	9	25
4	野崎地区	8 月 31 日（木）13 時 30 分～ 15 時 30 分	野崎研修センター	18	11	29
5	親園地区	9 月 5 日（火）13 時 30 分～ 15 時 30 分	佐久山地区公民館	9	11	20

6	佐久山地区	9月5日(火) 13時30分～ 15時30分	佐久山地区公民館	17	13	30
7	大田原西部 地区	9月6日(水) 13時30分～ 15時30分	市福祉センター	24	10	34
8	須賀川地区	9月8日(金) 18時30分～ 20時30分	須賀川地区公民館	14	7	21
9	黒羽地区	9月12日(火) 13時30分～ 15時30分	黒羽川西地区公民館	31	7	38
10	川西地区	9月12日(火) 13時30分～ 15時30分	黒羽川西地区公民館	20	7	27
11	両郷地区	9月13日(火) 18時30分～ 20時30分	両郷地区公民館	14	8	22
12	大田原東部 地区	9月21日(木) 13時30分～ 15時30分	東地区公民館	24	7	31
合 計				235	107	342

(3) 地域福祉に関するアンケートの実施

第三次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に向けて、地域座談会では声を拾えなかった世代の声を聞くために、中学生・高校生・大学生・働く世代・子育て世代・障がい当事者座談会等(対象者1,160人)、地域福祉活動に対する市民の意識調査を行いました。

4 小地域福祉活動

(1) 福祉委員(小地域福祉ネットワーク)活動推進事業

福祉委員は、各自治会長の推薦により173名が活動を行いました。

小地域福祉ネットワーク活動の推進役として、福祉委員は民生委員・児童委員をはじめ、隣近所やボランティアなどの協力を得ながら、見守り対象者を把握し、高齢者等に対する見守り活動や地区社協の食事サービス活動支援等を行いました。

① 福祉委員活動の地区ごとの代表者を決め連絡網を作りました。

② 民生委員・児童委員、福祉委員連絡協議会の開催

地域の見守り活動の推進役である福祉委員の理解促進を図るとともに、身近な相談役である民生委員・児童委員とのつながりづくりを目的に開催しました。

	地 区	月 日	場 所
1	湯津上地区	5月17日(水)	市湯津上庁舎
2	黒羽(黒羽、須賀川)地区	6月5日(月)	黒羽川西地区公民館
3	黒羽(川西・両郷)地区	6月19日(月)	黒羽川西地区公民館
4	大田原東部地区	7月20日(木)	東地区公民館
5	大田原西部・紫塚地区	7月31日(月)	大田原西地区公民館
6	金田地区	7月5日(水)	金田北地区公民館

7	親園・佐久山地区	6月1日(木)	佐久山地区公民館
8	野崎地区	7月13日(木)	野崎研修センター

(2) 地区社会福祉協議会活動支援事業

地区社会福祉協議会が実施する事業活動について、支援を行うとともに、加入普通会員一人当たり250円の活動助成金を交付しました。

各地区社会福祉協議会の主な事業活動は、次のとおりでした。

① 地区社協研修会

「全国校区・小地域福祉活動サミット in NIKKO」に参加。

日 時：11月30日(木) 午後1時30分～午後5時30分

場 所：日光市

参加者：地区社協関係者15人

内 容：

全国から集まった参加者とともに、小地域(校区や自治会など)における様々な福祉活動の取り組みを学び、様々な人と交流することで、地域をよりよくする活動のヒントを持ち帰りました。

② 活動助成の内容

地区社協名	助成金	主な事業活動
大田原東部地区社協	530,000円	ふれあい広場、食事サービス(月1回)、「東部社協だより」の発行等
大田原西部地区社協	656,000円	あったか広場、食事サービス(月4回)、「あったかだより」の発行等
紫塚地区社協	286,250円	ふれあい紫広場、食事サービス(月3回)、視察研修、「むらさきづか社協だより」の発行等
金田地区社協	712,750円	食事サービス(月2回)、研修会等
親園地区社協	215,000円	食事サービス(月2回)、「親園福祉だより」の発行
野崎地区社協	428,075円	ふくしのまち野崎文化祭、食事サービス(月4回)、「ふくしのまち野崎」の発行等
佐久山地区社協	165,250円	食事サービス(月3回)、視察研修、「さくやま社協だより」発行等
湯津上地区社協	260,250円	食事サービス(月1回)、世代間交流事業(縄よじり、豊年棒づくり)、地区社協だより「ゆうあい」の発行、ふれあい友愛広場

黒羽地区社協	249,750 円	食事サービス（月 1 回）、ふれあいサロン（ひとり暮らし高齢者会食会-川西地区社協と合同）、「黒羽地区社協だより」の発行等
川西地区社協	326,250 円	食事サービス（年 6 回）、ふれあいサロン（ひとり暮らし高齢者会食会-黒羽地区社協と合同）、「川西地区社協だより」の発行、ふれあい敬老会支援
両郷地区社協	134,250 円	学校安全パトロール、食事サービス（年 11 回）、地区社協だより発行等
須賀川地区社協	128,000 円	食事サービス（年 8 回）、視察研修等
計	4,091,825 円	

③ 食事サービス事業への支援

各地区社会福祉協議会等が実施している、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、「食事サービス事業」に対して、1食あたり400円の助成を行いました。配付活動は見守り活動（訪問安否確認）も兼ねています。

地区社協名	平成 29 年度 食事数	実施回数	対象者数	前年度食事数
大田原東部地区社協	859 食	12 回	71 人	865 食
大田原西部地区社協	2,191 食	47 回	62 人	2,183 食
紫塚地区社協	2,274 食	37 回	83 人	2,375 食
金田地区社協	712 食	24 回	30 人	720 食
親園地区社協	219 食	24 回	10 人	222 食
野崎地区社協	673 食	45 回	19 人	806 食
佐久山地区社協	920 食	33 回	39 人	855 食
湯津上地区社協	581 食	12 回	48 人	558 食
黒羽地区社協	617 食	10 回	63 人	689 食
川西地区社協	475 食	6 回	79 人	478 食
両郷地区社協	413 食	10 回	42 人	382 食
須賀川地区社協	188 食	8 回	24 人	208 食

市ボランティア連絡協議会 (黒羽支部)	565 食	4 回	286 人	577 食
合計	10,687 食	272 回	856 人	10,918 食

(助成総額 4,274,800円うち共同募金配分 3,696,000円)

(3) 友愛訪問活動への支援

地域のひとり暮らしや寝たきりの高齢者等の孤立を防止し、社会参加を促進することをねらいに、いきいきクラブが取り組んでいる、友愛訪問活動に助成を行いました。
(19クラブに助成)

5 ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンター事業

① 中高生が考える福祉のまちづくり IN 大田原

平成22年度より「中高生が考える福祉のまちづくり IN 大田原」を開催してきた中で見えてきたことを踏まえ、今後の事業展開へつなぐことを目的とし、中高生と福祉教育等担当教諭に福祉・ボランティア活動に対する意識調査を実施しました。

今回の意識調査をもとに、今後はこれまでのメンバーだけでなく、地域の障がい当事者をメンバーに加え、事業を発展、継続させていきます。

- ・調査方法：各中学校、高校に行き、生徒と担当教諭にインタビューを行う
- ・対象者：市内中学校、市内高校、近隣高校
生徒会や福祉委員、ボランティア部など、福祉・ボランティア活動を行う生徒。福祉、ボランティア担当教諭。
- ・調査期間：平成29年9月から11月
インタビュー結果をまとめ、協力校への今後の福祉活動に役立ててもらおうよう報告した。

② 栃木県・大田原市総合防災訓練

防災関係機関が相互に密な連携を図りながら、より実践的かつ具体的な訓練を実施し、災害対策基本法、栃木県地域防災計画及び大田原市地域防災計画の円滑な運用に資するとともに、県民・市民の防災に対する理解と防災意識の高揚を図ることを目的に参加しました。

- ・日 時：8月27日(日) 9時～12時
- ・場 所：大田原市中田原工業団地
- ・出席者：48名(参加者37名 本会職員11名)

- ・内 容：・ボランティア活動拠点運営訓練
- ・緊急物資の輸送、受入訓練

③ 災害ボランティア講座開催

「大田原市地域防災計画」に基づき、災害発生時に被災した市民の自立への手助けとなるよう、また、全国から集まる災害ボランティアの活動を適切に支援するために、平常時から災害ボランティア並びにボランティアリーダーを育成することが重要である。29年度は、栃木県・大田原市総合防災訓練も開催されるため、防災訓練への参加も併せて災害ボランティア講座を開催しました。

- ・日 時：8月27日（日） 13時00分～14時30分
- ・場 所：金田北地区公民館
- ・出席者：56名（参加者45名 本会職員11名）
- ・講 師：社会福祉法人鹿沼市社会福祉協議会 菊池浩史氏
チーム鹿沼代表 山ノ井濱市氏
- ・内 容：「平成27年 関東・東北豪雨を経験して」

④ 栃木県・県北地区災害ボランティア対応力向上訓練

ボランティア及び社会福祉協議会による、災害ボランティアセンターの設置及び運営、土壌積み等の応急対策、避難所等の支援などを活動体験の場として設定し、実践的な防災対応力の向上を目的として参加しました。

- ・日 時：9月24日（日） 9時00分～13時00分
- ・場 所：県立矢板東高等学校
- ・出席者：大田原社協として14名（大田原女子校6名 黒羽高校4名 職員3名、実習生1名）
- ・内 容：
 - ・災害ボランティアセンターの設置及び運営訓練
 - ・土砂崩れ等を想定した土嚢袋作成及び各種工法による設置等の応急対策訓練
 - ・避難所支援訓練
 - ・応急処置訓練
 - ・炊き出し訓練

⑤ 市民のまちづくり事業（市・大学ボランティアセンターとの共催）

市政策推進課・生涯学習課・国際医療福祉大学IUHWボランティアセンターとの共催で、市民のまちづくり事業を実施しました。

社協は福祉ボランティア育成の事業という観点も含めて運営委員会「紙ひこうきの会」の支援を行いました。

- ・運営委員 20名 大学の学生も参加
- ・運営委員会 12回開催
- ・市民のまちづくりを進める
「紙ひこうきの会」のあり方 要項を作成
- ・まちづくりの拠点を考える→市への提言書（案）作成
- ・分科会の活動を推進

⑥ 市ボランティア連絡協議会との連携・協力

市ボランティア連絡協議会が実施する各種福祉活動（与一まつりしあわせ広場、手作り弁当の配布等）への連携・協力を行いました。

⑦ ボランティア活動保険の加入促進

種別	年間保険料	死亡保険金額	加入者数	前年度加入者数
Aプラン	350円	1,320万円	4,580人	2,991人
Bプラン	500円	1,800万円	174人	60人
天災Aプラン	510円	1,320万円	122人	9人
天災Bプラン	710円	1,800万円	39人	30人
計			4,915人	3,090人

⑧ ボランティア登録の推進

ボランティア情報紙「だいすき」での情報の提供、県等から送付されるボランティア情報の提供、各福祉施設のボランティア要請情報の提供等を行いました。ボランティアに関する相談に応じ、ボランティア活動をして欲しい人とボランティアしたい人の橋渡し（ボランティアコーディネート）を行いました。

区分	団体登録		個人登録	ボランティア相談	ボランティアコーディネート
	団体数	登録者数			
平成29年度	147団体	4,481名	87名	36件	38件

⑨ ボランティア活動機材の貸与

点字プリンター、点字盤、アイマスク、車いす等を貸与し、ボランティア団体や、小・

中学校の「総合的な学習の時間」を活用した福祉教育の支援に努めました。

品 目	延べ利用件数	品 目	延べ利用件数
車いす	107台	カセットテープ レコーダー	0回
アイマスク	0枚	移動式スクリーン	1回
点字盤	61台	ビデオ・DVD	0回
点字プリンター	0台	書籍等	0回
高齢者擬似体験用具	28台	その他	30回

(2) 災害にも強い地域づくり事業の推進

①災害ボランティアセンター運営連絡会の開催

災害時のボランティア活動支援を迅速かつ円滑に開設・運営できるよう、また日常の関係団体・機関等の連携を進めるため設置している災害ボランティアセンター運営連絡会を開催しました。

「大田原市災害ボランティアセンター」は「大田原市地域防災計画」に基づき、大規模災害発生時などに、災害ボランティアの活動拠点として市社協に設置されるもので、被災地の復旧・復興支援のためのボランティア受入と活動の支援を行うものです。

○構成団体：市民生委員児童委員協議会連合会・市ボランティア連絡協議会・那須野ヶ原青年会議所・IUHWボランティアセンター（国際医療福祉大学）・大田原市（保健福祉部福祉課・総合政策部危機管理課）・市社会福祉協議会

○連絡会の開催（委員14名・オブザーバー 2名）

開催日	内 容	出席者数
8月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県・大田原市総合防災訓練について ・災害ボランティア講座について ・栃木県・県北地区災害ボランティア対応力向上訓練について ・各団体の活動についての情報交換 他 	委員13名 オブザーバー2名

6 福祉教育（ふくし共育）推進事業

(1) 福祉教育（ふくし共育）推進事業

福祉とは「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせのためのもの」であり、自分を含めたみんな

なにかかわることである。子どもから高齢の方まで、助け合いながら地域でつながりをもって暮らしていけるように、ともに生きる地域を創っていくことを目指し福祉教育（ふくし共育）を推進しました。

① 福祉教育副読本「ともに生きる」の発行

平成24年度に第5回改訂を行った福祉教育副読本「ともに生きる」を、市内の小学校1年生（603部）、4年生（662部）、及び中学1年生（614部）を対象に配付し、義務教育年代における福祉教育の振興に努めました。

② 学校等の福祉教育への支援

児童・生徒が、地域の福祉課題を地域の方と一緒に解決するプロセスから共に学び、共に生きる地域づくりを推進するため、「学校と地域がつながる福祉教育プログラム」への取組みを支援しました。

小・中学校等の学校での福祉教育の現場へ、地区社会福祉協議会、地区見守り隊をはじめ、障がい当事者や、福祉教育支援ボランティア「ささえ」とともに社協職員が出向き、児童・生徒に対する福祉教育を支援しました。

そして、学校からの相談に応じ、講師との調整や資料提供などコーディネートを行いました。その際には、子どもたち自身が地域でつながりをもって暮らしていけるよう、地域で「共に生きる力」をつけることを目的に、地域に暮らす障がい当事者や地域福祉活動をしている方と、児童・生徒をつなぐ働きかけを行いました。他に児童・生徒の相談に応じました。

○学校等への福祉教育支援状況一覧

	実施日	学校等	対象	参加者数 (人)	協力者 人数 (人)	内 容
1	9月4日	大田原小	5年生	89	15	認知症にやさしい地域を考えよう！In 大田原小
2	6月29日	西原小	4年生	134	6	ふくしの話・地域で活動している方の話を聞こう
3	11月9日	西原小	4年生	134	6	車いす体験
4	12月11日	西原小	4年生	134	1	聞こえない方の話を聞こう
5	12月12日	西原小	4年生	134	1	車いす利用者のお話を聞こう
6	12月14日	西原小	4年生	134	1	見えない方のお話を聞こう
7	7月5日	紫塚小	5年生	52	7	ふくしの話・バリアフリーについて (車いす利用者のお話)・車いす体験
8	11月8日	紫塚小	5年生	53	8	認知症にやさしい地域を考えよう！In 紫塚
9	7月6日	親園小	4年生	28	5	ふくしの話・障がい当事者との交流
10	12月5日	市野沢小	4・5・6 年生	162	3	障がい当事者の方のお話「障がいってどこにあるの？」

11	7月18日	奥沢小	5年生	13	5	認知症にやさしい地域を考えよう！In奥沢
12	10月16日	金丸小	5年生	7	4	認知症にやさしい地域を考えよう！In金丸
13	2月21日	薄葉小	4年生	43	1	手話体験（障がい当事者との交流）
14	2月22日	薄葉小	4年生	43	1	点字体験（障がい当事者との交流）
15	8月21日	佐久山小	4年生	9	-	佐久山おもいやり隊会食会への参加
16	6月13日	佐久山小 福原小	4年生	17	2	ふくしの話・高齢者擬似体験
17	8月2日	福原小	4・5・6 年生	12	-	佐久山おもいやり隊茶話会への参加
18	7月4日	佐良土小	4年生	9	-	ふくしの話
19	7月14日	佐良土小	4年生	9	5	認知症にやさしい地域を考えよう！In佐良土
20	9月13日	佐良土小	4年生	9	-	車いす体験・高齢者擬似体験
21	9月14日	湯津上小	5年生	9	5	認知症にやさしい地域を考えよう！In湯津上
22	9月28日	湯津上小	5年生	9	-	ふくしの話・車いす体験・高齢者擬似体験
23	11月14日	蛭田小	4年生	12	5	ふくしの話・障がい当事者との交流と体験活動
24	6月28日	川西小	4年生	41	4	福祉について学ぶ会（障がい当事者のお話）
25	9月7日	黒羽小	5年生	29	5	認知症にやさしい地域を考えよう！In黒羽
26	7月6日	両郷中央小	4年生	14	4	認知症にやさしい地域を考えよう！In両郷
27	6月23日	親園中	3年生	32	-	ふくしの話・グループワーク「地域の課題を考えよう」「できることを考えよう」
28	7月10日	親園中	3年生	32	3	地域で活動する人にお話を聞こう
29	9月19日	親園中	3年生	32	9	福祉について学ぶ会（障がい当事者のお話）

30	9月7日	金田北中	1年生	62	5	ふくしの話・車いす利用者のお話・車いす歩行体験
31	12月7日	金田南中	1年生	24	2	車いす体験（事前学習）
32	12月8日	金田南中	2年生	34	2	車いす体験（事前学習）
33	12月11日	金田南中	3年生	33	2	車いす体験（事前学習）
34	12月14日	金田南中	全学年	91	8	ふくしの話・車いすツインバスケットボールを通してともに生きるを学ぶ
35	2月5日	金田南中	3年生	33	1	ふくしの話・障がい者スポーツについて
36	11月14日	野崎中	1年生	57	11	災害にも強い地域を考えよう DIG：災害図上訓練
37	5月24日	湯津上中	1・2年生	74	3	ふくしの話・地域で活動し いる人のお話を聞く
38	5月25日	湯津上中	1・2年生	74	6	高齢者擬似体験・手指の体験・車いす体験
39	9月15日	湯津上中	全学年	101	-	見守り利用者宅訪問
40	5月18日	大田原高校	2年生	240	1	ろう者についてのお話
合計				2,258	147	

③ おおたわら小・中学校福祉教育（ふくし共育）研究会の設置

福祉教育副読本「ともに生きる」（第6回改訂）の内容及び活用方法等についての協議を行うこと、児童・生徒に対する、「地域でともに生きる力」を育むことをねらいとした福祉教育（ふくし共育）について検討すること、学校、地域、福祉施設、当事者など関係機関のつながりづくりをねらいに、「おおたわら小・中学校福祉教育（ふくし共育）研究会」を設置しました。

改訂では、福祉は高齢や障がいのことも含め、自分もみんなもしあわせに暮らすことであり一人ひとりに関係のあること、また、地域の方とのかかわりが大切であり、誰もが地域で支え合って暮らしていくことなどをベースに協議を重ね、内容を工夫しました。

○研修会委員数： 47名（市内小・中学校教諭等教育関係者、地域福祉関係者、障がい当事者、ボランティア等）

○研究会開催回数： ・全体会（2回） ・調整会議（1回）
・小学校下学年部会（4回） ・小学校上学年部会（4回）
・中学校部会（4回）

- 福祉教育副読本「ともに生きる」：小学校1・2・3年生用・小学校4・5・6年生用・中学生用・教師用手引き

④ 平成29年度民生委員協力者育成事業への協力

民生委員制度100周年にあたり、身近な相談相手である民生委員活動への理解を深めることを目的に、栃木県・県社会福祉協議会・県民生委員児童委員協議会が主催する「民生委員協力者育成事業」に、市と市社協で実施協力しました。

○民生委員活動普及啓発セミナー

日 時： 9月15日（金）午後1時20分～3時30分
会 場： 那須野が原ハーモニーホール 小ホール
内 容： 第1部 講演 「民生委員とその役割」
講師 国際医療福祉大学教授 小林雅彦氏
第2部 実践発表 野崎地区民生委員児童委員協議会他
参加者： 150名

○民生委員活動一日体験事業

日 時： 12月16日（土）午後1時30分～3時30分
会 場： 大田原市福祉センター 他
内 容： 民生委員活動についての講話・民生委員活動（高齢者宅訪問）同行
他
参加者： 大田原高校・大田原女子高生徒 10名
協 力： 大田原市民生委員児童委員協議会 民生委員 5名

(2) 地域福祉啓発イベント開催事業

① ぼくらのまちのウォークラリーの開催支援

「ともに生きるまちづくり」について考える地域福祉啓発イベントを企画・実施する「ぼくらのまちのウォークラリー実行委員会」の支援を行いました。

子どもも高齢者もハンディのある人もない人も、すべての人たちが一緒に楽しむ体験を通して、相互の理解を図り、連帯感を高め、「ともに生きるまちづくり」を進めることを目的とするものです。

- ・日 時： 10月14日（土）午前9時45分～午後1時
- ・場 所： 黒羽中学校体育館（大田原市北野上3597-1）
- ・参加者： 85名 ボランティア50名 実行委員23名

(3) 広報充実事業

① 機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進

機関紙「おおたわら社協だより」の裏面から2ページ分をボランティア情報紙「だいすき」として合わせて発行しました。

各種事業の周知、理事会・評議員会の動き、ボランティアの紹介や社協の仕事内容紹介、及び市民のみなさんに考えていただく地域の課題等を入れて、紙面の充実に努めました。

(年6回市内全戸配布)

また「おおたわら子ども社協だより」を発行し、子どもの頃から地域福祉に親しみがもてるよう、また、地域のつながりを考えられるような紙面を作成し、児童・生徒に配布しました。(年2回市内小中学校に配布)

② ホームページによる広報活動

インターネット・ホームページ (URL: www.ohtawara-shakyo.or.jp/) により、本会の活動状況、イベントの開催、サービス内容等を広報しています。

(4) 社会福祉士養成課程実習生の受入れ

開かれた社会福祉協議会として、福祉に携わる人材の育成をねらいに、社会福祉士養成課程の国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科実習生6名を事前実習3月6日～8日、本実習7月27日～8月31日、並びに日本体育大学 体育学部 健康学科 ソーシャルサポート領域実習生1名を9月20日～10月24日の間受け入れました。実習生を適切に受け入れ指導やアドバイスをすることで社協職員のOJT等資質の向上や社協の評価にもつながりました。

II 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業

1 総合相談事業の実施

(1) 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援事業の「自立相談支援」を市から受託し、経済的かつ社会的孤立の問題を抱える生活上の困難に直面した方に対し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を図れるよう、行政、ハローワーク等の関係機関との連携をとりながら、相談者の困窮からの早期脱却と困窮者を支援する地域づくりを目的に取り組みました。

○相談件数

No.	相談内容	件数	No.	相談内容	件数
1	病気や健康、障害のこと	6件	9	地域との関係について	1件
2	住まいのこと	3件	10	家族関係・人間関係	3件
3	収入・生活費のこと	39件	11	子育て・介護のこと	1件
4	家賃やローンのこと	6件	12	ひきこもり・不登校	2件
5	税金や公共料金のこと	0件	13	DV・虐待	0件
6	債務について	2件	14	食べる物が無い	2件
7	仕事探し、就職について	8件	15	その他	4件
8	仕事上の不安やトラブル	0件		計	77件

※平成29年度に新たに受け付けた件数です。

○支援実施延べ回数

No.	相談内容	年間合計
1	電話相談・連絡	362回
2	訪問同行・支援	138回
3	面談	408回
4	その他他機関との会議（支援調整会議以外）	19回
5	他機関との電話照会・協議	94回
6	その他	11回

※制度の理解促進を図るため、PRに努めました。

- 5月19日 大田原市ボランティア連絡協議会
- 6月9日 市社協第2回理事会
- 7月16日 生活困窮者自立支援事業、認知症、精神疾患患者への対応についての講演会（佐久山地区）
- 8月22日 福祉委員連絡会
- 2月21日 湯津上地区民生委員児童委員定例会
- 3月30日 地域包括支援センター研修

(2) 心配ごと相談事業

市からの受託事業として「心配ごと相談事業」を行いました。市民の日常生活上の心配ごとの相談に応じるため、民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、福祉センター及び社協各支所内に相談所を開設した。また、随時電話や窓口において生活相談などを受け付けました。

○心配ごと相談開催日

地区	相談日	時間	場所	回数
大田原	毎週金曜日	9:00～正午	市福祉センター	48回
湯津上	毎月第1水曜日	13:00～16:00	佐良土多目的交流センター	12回
黒羽	毎月第1・3木曜日	9:00～正午	社協黒羽支所	29回

○心配ごと相談種別ごとの年間利用状況（総件数21件）相談者15名

種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数
生計	1	職業・生業	1	家族	7	健康・衛生	0	医療	1	人権	0
年金	0	住宅	0	結婚	0	離婚	0	事故	0	財産	1
精神衛生	1	児童福祉	2	教育・青少年	0	心身障害	0	老人福祉	1	母子福祉	0
その他	2	苦情	4								

○その他の相談件数 69件 社協窓口での相談件数（ボランティア、貸付、見守り関係を除く）

(3) 福祉金庫貸付事業

大田原市社会福祉協議会福祉金庫資金貸付事業実施要領に基づき、低所得層に対する生活、医療等の費用の少額資金一時融資を行っています。善意銀行の拠出金を原資として1借受人あたり2万円または3万円を限度に12ヶ月無利子月賦償還する制度として実施しています。

○貸付・償還状況（平成29年度）

前年度末残高 A		1,486,527 円	・前年度償還未済額 1,016,970 円
29 年度	貸付金額 B	513,000 円	・新規貸出件数 25 件
	償還金額 C	633,000 円	・償還完了件数 31 件
	不納欠損額 D	40,000 円	・不納欠損件数 4 件
	預金利子 E	14 円	・普通預金利子
	地域福祉事業へ振替 F	0 円	
	残高 G	1,606,541 円	年度繰越 (A-B+C+E-F)

相談件数 78件

※年度末貸付償還未済額は 856,970円

(4) 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会からの受託事務として、生活福祉資金の貸付・償還事務を行いました。貸付種類は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」の4種類です。低所得者世帯、失業者、障害者世帯及び高齢者世帯で、一定の所得基準の範囲内世帯を対象として実施しました。

○貸付・償還状況（平成29年度）

貸付	新規貸付 8件	総合支援資金1件、福祉資金福祉費4件、福祉資金緊急小口資金1件、教育支援資金2件
償還	償還中 52件	総合支援資金9件、福祉資金福祉費12件、福祉資金緊急小口資金13件、教育支援資金14件、離職者支援資金2件、臨時特例つなぎ資金2件
	償還完了 9件	総合支援資金1件、福祉資金福祉費1件、福祉資金緊急小口資金4件、修学資金3件
	償還免除 1件	離職者支援資金1件
相談	60件	貸付に関する相談

2 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業（あすてらす）

高齢者、障がい者等で収支の判断が不十分な方の金銭管理や書類預かり等を行う、日常生活自立支援事業（あすてらす おおたわら）を下記のとおり実施しました。制度の推進を図るため、社協だよりへ掲載し制度のPRに努めました。

○あすてらす利用状況

平成29年度状況	生活支援利用者数	備考
年度当初	58名	
新規契約	28名	
解約（死亡・解約）	△7名	死亡4人、申出解約3人（転居他）
平成29年度末現在	79名	

- ・ 専門員 2人
- ・ 生活支援員 21人（社協職員4人含む）
（内訳：大田原9人、湯津上4人、黒羽8人）

・ 主な支援内容

日常的な金銭管理サービス（預貯金の出し入れ、福祉サービス利用料等の支払）、書類等預かりサービス（預金通帳や証書等の預かり）・相談

Ⅲ 在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～

1 介護保険サービス

(1) 訪問介護事業

介護保険の指定事業所として、要介護認定を受けた利用者にホームヘルパーを派遣し、入浴を含む身体介護や家事の支援を行う事業。また、市の介護予防日常生活支援総合事業の訪問型サービス事業を実施しました。

	29年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	22,937,981円	25,739,037円	89.1%
年間延べ利用者数	866人	889人	97.4%
月平均利用者数	72人	74.1人	97.2%
ホームヘルパー数	19人	23人	82.6%

(2) 受託訪問介護事業の推進

介護保険の対象とならない高齢者等に対しホームヘルパーを派遣する「生活支援ホームヘルプサービス事業」を市から受託し、訪問介護事業を実施しました。

	29年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	18,000円	186,000円	9.6%
年間延べ利用者数	2人	24人	8.3%
月平均利用者数	0.1人	2人	5.0%

2 障害福祉サービス

(1) 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法と児童福祉法に基づく在宅サービス事業及び大田原市地域生活支援事業を受託し、ホームヘルパーを派遣しました。

○計画相談支援事業

	29年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	2,133,937円	2,019,252円	105.6%
年間延べ利用者数	144人	128人	112.5%
月平均利用者数	12人	10.7人	112.1%
相談支援専門員	1人	1人	100.0%

○障害福祉サービス（居宅介護）

	29年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	8,741,006円	7,581,320円	115.3%
年間延べ利用者数	324人	341人	95.0%
月平均利用者数	27人	29人	93.1%

○同行援護サービス

	29年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	1,704,120円	1,620,030円	105.2%
年間延べ利用者数	93人	94人	98.9%
月平均利用者数	7.8人	7.8人	100.0%

○移動支援

	29年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	0円	74,050円	-100%
年間延べ利用者数	0人	9人	-100%
月平均利用者数	0人	0.8人	-100%

3 その他のサービス

(1) 日常生活用具貸与事業

在宅の寝たきり高齢者及び重度の障がい者等に対して、日常生活用具を貸与することにより、福祉の増進を図ることを目的に、ギャッジベッド、車椅子など2品目について無償貸与しました。

○品目別貸与状況

地区	貸出件数		保有台数	
	ベッド	車いす	ベッド	車いす
本所	43件	76件	22台	41台
湯津上支所	0件	9件	0台	4台
黒羽支所	19件	8件	21台	16台
計	62件	93件	43台	61台

(2) リフト付き自動車貸出事業

車いすを使用していて公共機関の利用が困難な市内在住の在宅者の方に対して、在宅福祉の向上を図るために、車いす用リフト付き自動車を無料で貸し出しを行いました。

○リフト付き自動車貸出件数 72件

(3) 福祉サービス適正化事業

事業所ごとに苦情解決責任者を設け苦情解決を図りました。また6名の委員による第三者委員会を設置しています。

(4) 大田原市介護支援ボランティアポイント制度

介護予防のためのボランティア活動「いきいき活動」を通じて、65歳以上の方の社会参加と介護予防の推進を図り、健康でいきいきとした地域社会づくりを推進することを目的に、大田原市介護保険制度の地域支援事業として、市が実施主体となる事業を社協が受託しました。

○与一いきいきメイト養成講座

期 間 平成29年7月25日～11月21日（7回）

受講者数 14名

○与一いきいきメイト登録者 82名

○いきいき活動受入施設 ほほえみセンター等 20箇所

○与一いきいきメイトフォローアップ研修

日 時 平成29年12月4日午後1時30分～3時45分

場 所 東地区公民館

参加者 与一いきいきメイト 41名

内 容 講話（栄養について、運動について）とグループワーク

・栄養について 大田原市健康政策課 管理栄養士 上原 優希 氏

・運動について 国際医療福祉大学理学療法学科 准教授 下井俊典 氏

IV 法人の基盤強化事業

1 福祉のまちづくり市民参加運営事業

(1) 理事会・評議員会の開催

理事会

第1回理事会

1 開催日時 平成29年5月24日（水）午後3時30分～4時30分

2 開催場所 市福祉センター 研修室

＝報告＝

報告第1号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員の委嘱について

＝議案＝

議案第1号 平成28年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第2号）

議案第2号 平成28年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第3号 平成28年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算の承認について

議案第4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について

議案第5号 平成29年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第1回評議員会の開催について

議案第6号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について

議案第7号 平成29年度に社会福祉法人大田原市社会福祉協議会が大田原市と交わす委託契約等について

第2回理事会

- 1 開催日時 平成29年6月9日（金）午後3時～4時
- 2 開催場所 市福祉センター 研修室

＝議案＝

議案第8号 会長、副会長、常務理事の選任について

（終了後地域福祉基金運営委員会を開催）

第3回理事会

- 1 開催日時 平成29年12月19日（火）午後3時30分から4時30分
- 2 開催場所 市福祉センター研修室

＝報告＝

報告第2号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職務執行状況報告について

報告第3号 会長専決事項の報告について

＝議案＝

議案第9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第1号）について

議案第10号 平成29年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行払い出し配分について

議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について

議案第12号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会福祉委員設置要項の一部を改正する要綱の制定について

議案第13号 平成29年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第2回評議員会の開催について

第4回理事会

1 開催日時 平成30年3月15日（木）午前11時から正午

2 開催場所 市福祉センター研修室

=議案=

議案第14号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について

議案第15号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員人事評価の実施に関する要綱の制定について

議案第16号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会墓地清掃サービス事業実施要綱の制定について

議案第17号 平成30年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について

議案第18号 平成30年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

議案第19号 平成29年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第3回評議員会の開催について

第1回評議員会

1 開催日時 平成29年6月7日（水）午後1時30分から2時30分

2 開催場所 市福祉センター研修室

=議案=

議案第1号 平成28年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算(第2号)
の承認について

議案第2号 平成28年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認に
ついて

議案第3号 平成28年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算の承認に
ついて

=会計監査報告=

議案第4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会理事、監事の選任について

議案第5号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規
程の制定について

第2回評議員会

1 開催日時 平成29年12月22日(金)午後1時30分から2時30分

2 開催場所 市福祉センター研修室

=議案=

議案第6号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算(第1号)の承認につ
いて

議案第7号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程
の制定について

議案第8号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会福祉委員設置要項の一部を改正
する要綱の制定について

議案第9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員を選任について

第3回評議員会

1 開催日時 平成30年3月16日(金)午後1時30分から3時

2 開催場所 市福祉センター研修室

=議案=

議案第10号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について

議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員人事評価の実施に関する要綱の制定について

議案第12号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会墓地清掃サービス事業実施要綱の制定について

議案第13号 平成30年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について

議案第14号 平成30年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

議案第15号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員を選任について

(2) 会員加入の推進

社会福祉への理解と協力を求め、普通会员、特別会員、賛助会員の加入促進に努めた。

○会員加入の状況

	会費	会員数	納入会費金額	金額前年比
普通会员	500円	16,367世帯	8,183,650円	100.0%
特別会員	1,000円	764件	1,036,000円	99.7%
賛助会員	5,000円	32施設	160,000円	100.0%
計			9,379,650円	99.9%

2 基金・寄付事業

(1) 善意銀行運営事業

社会福祉のために役立つようにと市民等から寄せられた金品等の善意の寄付を有効利用できるよう、適正な善意銀行の運営に努めた。

金銭預託	収入の部	前年度繰越金	4,531,721円	預託者（敬称略）	
		預託金額 （H29.4.1～ H30.3.31）	471,044円	栗原敏子（12回） 大田原市福祉ふれあいまつり 実行員委員会	360,000円 109,354円
				湯津上地区公民館 高齢者学級	521円
				湯津上地区公民館 女性セミナー	1,169円
		預金利子	45円	普通預金利子	
	合計	5,002,810円			
	支出の部	配分金額	630,000円	市身障児（者）保護者会	80,000円
				市ボランティア連絡協議会	260,000円
				市いきいきクラブ	80,000円
			市身障者福祉会	190,000円	
		市母子寡婦福祉連合会	20,000円		
合計	630,000円				
収入支出差引残高	4,372,810円				

物品預託	穴山 美由紀	車いす1台
	くろばね鳴子会	タオル100本
	コーヒーカップ	車いす1台
	小西 久美子	もち
	鈴木 チヤ	タオル77本
	匿名	ランドセル4個
	栃木県立大田原高等学校生徒会	雑巾140枚
	室井 幸子	はがき229枚
	連合栃木那須地域協議会	タオル180本
	匿名	色鉛筆、マーカー

(2) 地域福祉基金造成事業

大田原市における地域福祉の増進に役立てるため「地域福祉基金（ぎんなん基金）」が設けられている。寄附、利息等による基金の運用を行っている。

○ 基金運用状況

前年度末基金原資残高 ①	210,057,358円	
平成29年度寄付金額 ②	109,090円	寄付件数 3件 (敬称略) 紫塚地区社会福祉協議会 20,000円 大田原ライオンズクラブ女性会 30,000円 匿名 50,000円 募金箱 9,090円
預金利息等 ③	1,425,475円	平成23年栃木県公募債利金含
区分間繰入金支出 ④	9,425,157円	地域福祉事業費として
平成29年度原資取崩額	8,001,000円	
本年度末基金原資残高 ① + ② + ③ - ④	202,166,766円	定期預金等へ積立

(3) 赤い羽根共同募金事業

社会福祉法人栃木県共同募金会大田原市支会として、10月1日から12月28日までの期間、募金活動を行った。平成29年8月25日に市支会委員会を開催し、募金運動に対する取り組み方針、募金配分先を協議しました。

○平成29年度共同募金実績一覧

(単位：円)

種 別	募金目標額	募金実績額	達成率 (%)	前年度実績額
戸別募金	5,770,000円	5,725,275円	99.2%	5,793,571円
特別募金	3,225,000円	3,081,140円	95.5%	3,140,840円
街頭募金	250,000円	339,478円	135.7%	424,359円
学校募金	315,000円	382,289円	121.3%	330,937円
職域募金	425,000円	532,807円	125.3%	447,454円
イベント募金等	175,000円	258,498円	147.7%	163,840円
合 計	10,160,000円	10,319,487円	101.5%	10,301,001円

(平成29年度募金からの配分：平成30年度の配分予定は6,549,487円)

○共同募金配分金事業

平成28年度の募金実績に応じて、県共同募金会から6,440,001円が大田原市支会に配分されました。配分内容は以下のとおりです。

・食事サービス助成	3,696,000円
・友愛訪問活動支援	89,000円
・福祉小冊子「ともに生きる」印刷費	899,608円
・各種団体活動助成	700,000円
・地区社協活動助成	1,000,000円
・災害ボランティア講座	55,393円

○「おおたわらを良くするしくみ」応援助成事業

共同募金の助成を通じ、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の新たな課題を発見し、問題解決をしようとしている福祉活動を応援すること、また、助成による活動の成果を発信することで、共同募金の使いみちの透明性を図り、共同募金への理解を深めることを目的として実施しました。

審査委員会

平成30年1月23日（火）に、大田原市福祉センターにて開催
助成申請団体による活動説明を経て、審査を行いました。

☆助成対象（助成は平成30年度に実施します）

1	団体名	あすなろ友の会 居場所あべさんち	助成予定額	50,000円
	事業	高齢者参加居場所及び共生居場所（ミニデイサービス、日常生活支援、多世代型コミュニティデイサービス）		
2	団体名	薄葉第二いきいきクラブ	助成予定額	50,000円
	事業	安心生活助け合い事業（地域内の助け合い、世代間交流活動の推進）		
3	団体名	黒羽田町自治会	助成予定額	50,000円
	事業	ミニ文化祭を通じて、地域内の世代間交流活動の推進		
4	団体名	語りべ「造 ^{みやっこ} の会」	助成予定額	50,000円
	事業	世代を超えて地域の伝統を伝える語りべ（子どもから高齢者までを対象に、語り部の育成と民話の伝承と堀おこしを行う）		

5	団体名	富士見ハイツ自治会	助成予定額	50,000円
	事業	高齢者の健康維持増進活動（公民館を活用して、地域内の交流推進）		
6	団体名	黒羽盛り上げ隊 （国際医療福祉大学学生ボランティア）	助成予定額	20,000円
	事業	黒羽見守り助け合い隊（安心生活見守り事業）への協力、交流活動と「盛り上げ隊新聞」の発行		
7	団体名	傾聴ボランティア大田原	助成予定額	30,000円
	事業	地域での社会的孤立を防ぐ訪問活動		

3 その他

(1) 大田原市福祉センター管理運営事業

市からの委託を受けて、市福祉センターの管理運営にあたり、各種講座や会合、集会等に次のとおり利用がありました。

区 分	総数	研修室1.2	研修室3	調理室	相談室	ボランティア室
市福祉センター	340件	154件	37件	58件	86件	5件

○ 「おもちゃの図書館」の運営

おもちゃ遊びをとおして、障がいのある児童もない児童もふれあい、交流活動が行えるように福祉センター内に「おもちゃの図書館」の設置運営を行っています。

□ その他の事項

1 表彰等受賞者氏名（敬称略）

第23回 栃木県民福祉のつどい

平成29年8月29日（火）

栃木県社会福祉協議会会長表彰

社会福祉施設・団体関係功労者：

晴風園 遠山 みどり

日常生活自立支援功労者
みのる としお
實 壽夫

栃木県共同募金会会長表彰

共同募金功労者

印東 俊一	藤田 三夫	大嶋 正文	筒井 雅治
佐藤 富夫	田代 保	米澤 順一	渡邊 誠市

平成29年度 全国社会福祉大会

平成29年11月22日（水）

中央共同募金会会長表彰（優良地区団体）

栃木県共同募金会大田原市支会